

XooNIpsをた 基盤とした

理化学研究所の開発しているXooNIpsを基盤として、
機関リポジトリを構築するために必要な機能を
XooNIps-Libraryモジュールとして切り出し、
開発・公開すること、またその汎用性・容易に構築で
きる特性を活かして、機関リポジトリにプラスし、
分野を超えて広く利用することができるよう
普及することを主な目的として活動しています。

【XooNIps開発計画】

2006/05 開発開始
2006/11 V1.0を公開
2007/04 V1.2を公開 (XooNIps3.24に対応)
2007/08 V1.3を公開 (XooNIps3.30に対応)
2008/01 V1.31を公開 (XooNIps3.31に対応)
2008/06 V1.32を公開
(XooNIps3.32に対応、JuNii2形式のOAI-PMHハーベストに対応)
2009/02 V1.40を公開 (XooNIps3.42aに対応)

平成20年度はこんなことをや りました

4回のワークショップを
開催しました

平成20年10月
理化学研究所において、理
化学研究所の研究者が利用
するワークショップに参加
し、図書館での利用例とし
て報告を行いました。

平成20年11月
別府大学において、ワーク
ショップを開催。Windows
で1時間で構築できる簡便性
の紹介や、図書館情報学を
学ぶ学生への目録教育の一
環として、XooNIpsを用い
たシステムへのデータ登録
を行った事例の報告などが
ありました。

平成21年2月
大阪でワークショップを開
催。Linux初心者でもでき
る(?)構築事例の紹介、マニ
ュアルの紹介がありました。

平成21年3月
最新版のLibraryモジュール
開発の紹介ワークショップ
を東京で開催しました

協力機関の方々と連携
し、Windows版、Linux版の
構築マニュアルを作成・公開

XooNIpsの更新に合わせて
Libraryモジュールを改修、公
開しました

XooNIpsは既に、大学図書館だけ
ではない各種分野で利用されてい
る

情報共有のため、XooNIps研究
会が発足していま
す

これらの特徴を活かせるよう 事業を進めています

国内で開発されており、
各ワークショップには開発者
の方が参加して下さって、直接
話ができます

既に7機関以上で、
機関リポジトリとし
て利用されています

利用機関は平成20年
度も増えました

利用機関は平成21年
度も増える予定です

XooNIpsにLibraryモジュールを組み合わせることで
機関リポジトリとして利用可能なシステムを構築できる

Libraryモジュールの改修も進めます

XooNIps構築ハンズオン・ワークショップ含め(今秋予定)、
複数回のワークショップを開催し、情報公開・共有を実施します

平成21年度もこんなことを やろうと思います

構築マニュアルに続き、
運用マニュアルの作成を
実施する予定

ご興味がありましたら、気軽にお声がけください。
また、Webで“XooNIps研究会”と検索していただき、メールマガジンに
参加いただくことでも情報を共有することができます。

新しい リポジトリ システム 構築への 取り組み

平成20年度CSI委託事業
領域2報告
主担当：慶應義塾大学
分担：別府大学